

地域に支えられる府中学園の学び



児童生徒会 副会長
井上和佳奈さん

・府中学園での主なコミュニティ活動は、清掃活動、灯籠まつり、ありがとうの日など

私は、大会翌日のエクスカージョンという、全国の方へ事例発表をする場に参加しました。今回のことがあるまでは、コミュニティ・スクールのことを詳しく知りませんでした。当日流す動画を作るために、「どうやら府中学園ならではのコミュニティ・スクールの魅力を、参加してくださった方々に伝えることができるか」を考えていくうちに、少しずつコミュニティ・スクールのことを理解することができました。私たちは地域の人たちにたくさん支えられ、教科書に載っていないことも教えていただいていると気持ち、すごくよい環境で生活・勉強できていることを客観的に考えることができました。

府中学園での主なコミュニティ

他のコミュニティ・スクールのお話を聞く中で、いいなと思った取り組みがありました。それは、学校で自由発表の時間をとり、自分たちがしたいこと、特技や趣味の話を披露するという取り組みです。私たちは文化祭や学習発表会などで、毎年学年ごとに決まったことをしているのですが、自分たちがやりたいことをみんなで見つけて、披露したいと思いました。それを地域の方に見ていただき、感謝の

新たな「してみたい」を発見！
感謝の気持ちを伝える場に

があります。ありがたい日には、地域の方に学校に来ていただいて、日ごろの感謝を伝えます。マッサージブラスを作ったり、みそ汁を作ったり食べてもらったりと楽しんでももらえることを計画しました。もっとこういった機会を増やして、しっかりと感謝の気持ちを伝えたいと思います。

それ以外にも、見守り隊の方々が、雨の日も寒い日も街頭に立って見守ってくださり、安心して登下校ができています。また、地域の方のところへ出掛けてお話を聞いたりしています。

気持ち表現して伝えるというの、もいいなと思いました。

地域に支えられて学ぶ

全国コミュニティ・スクール研究大会の準備や、多くの方と話をしているときは、なかなか気付くことができなかった、地域の方に支えられているということに気付くことができました。これに気付く児童・生徒が増えていくことで、コミュニティ・スクールの重要性や大切さを実感し、私たちが主体となって、学校と地域が互いに活性化していく形ができると思います。

将来私は、中学校の先生になるという夢があります。先生になり、府中学園で前期課程の野菜作りや後期課程の和文を学ぶ授業をしたいと思っています。これから府中学園を引っ張っていく後輩には、地域の方と多く関わって、学校の授業とは別に、さまざまなことを学んでほしいです。これは、府中学園だからこそできる学びなので、しっかり学んで、それを次の子どもにどんどん伝えて、府中学園の良さをパワーアップしていったほしいです。

府中市のコミュニティ・スクールはスゴイ！



沖縄県名護市 名護小学校学校運営協議会
金城 毅さん

④ 私たちのところは、来年コミュニティ・スクールを立ち上げます。それに向けて、どういうことが必要なのか、何ができるのかを学びに来ました。今回参加させていただいて、分かったことは、コミュニティ・スクールは地域おこしにもつながるということです。

⑤ 人のつながりづくりから始まり、その他の人を引っ張っていく人が、純粋に周りのことを考える人でなければいけない。府中市のコミュニティ・スクールを引っ張っている人たちのような人を、どれだけ集められるかが鍵になるのかなと思いました。今日聞いた話を名護市でも実践していこうと思いますが、地域や学校規模によって、合う、合わないがあるので、その辺は、実態にあった工夫を加えていく必要があるのではないのでしょうか。地域、学校、保護者そして行政が関わらないと府中市のような成功はないと思います。たいへん勉強になった3日間でした。



滋賀県高島市 教育委員
田邊栄美子さん

④ 高島市でもコミュニティ・スクールが始まりましたが、私自身も地域の方と同じで、「CSって何？」というところから始まりました。まずは地域の方にコミュニティ・スクールを知ってもらわないと何も始まりません。学校、地域、保護者が同じ方向を向いて進むことが大事なのですが、少子化で、地域の行事も減り、参加する生徒も少ない現状があります。元々が地元でない保護者もいて、地域の祭りなどのボランティア活動に理解を得られないこともあります。そういう人たちに、「子どもたちを学校だけに任せるのではなく、学校、地域、保護者が一緒に育てていかないと、学校がダメになっていきますよ」と言いたい。先生を助けていくのは、地域であり周りの方々だと理解してほしいです。

⑤ 今回の府中学園の発表では、この場に生徒が来て説明していて、子どもたちが当事者意識を持って行動していることに感動しました。



上下南小学校学校運営協議会
小川香奈さん(右)

④ 上下南小では、地域の方が学校へ出向いてくださり、みんなで芋掘りや牧場に遊びに行くことを以前からしていました。その中でも、コミュニティ・スクールという枠組みができたので、「孫がいなくなったら、交流を断らせてもらっていたかもしれない」という方が、ずっと関わり続けてくださっています。

⑤ その中でも変わったといえば感謝祭です。今までは、子どもの発表を見に来る場だったのが、地域の方との交流活動をするようにしたことで、交流する時間が増え、いろいろな話をするのができ、お互いを知ってもらえるようになりました。運動会も、地域の方も一緒に競技に参加して、帰りに子どもたちが顔見知りの地域の人に「ありがとー」と言っている姿を見て、保護者として、地域に育ててもらっているという実感ががあります。

スゴイ！
スゴイ！
スゴイ！

スゴイ！

スゴイ！

今後の府中市コミュニティ・スクールが目指す方向性

現在の府中市コミュニティ・スクールは、学校運営協議会において、校長の学校経営方針を協議し、承認を経て、教育活動を実践しています。また、府中市コミュニティ・スクールは、「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の両輪で取り組みを進めています。

「学校づくり」に、保護者や地域住民の多くが積極的に関わることは、子どもたちの成長や「地域づくり」にもつながります。

また、よりよい「地域づくり」の活動は、子どもにプラスに影響し、さらに、よい「学校づくり」にもつながります。

この両輪をつなぐ視点が、子どもたちの「学び」です。そのために、これから府中市コミュニティ・スクールは、現在の状況からステップアップして、次のステップを目指します。

これまでは、学校だけで教育課程を作成していましたが、これからは、教育課程を介して、今以上に目標を社会と共有することが必要になります。そのため、育てたい子ども像を社会全体と共有した上で、教育課程つまり、学校で学習する内容を学校だけでなく、保護者、地域の方、地元企業の方の声を生かし、共に作成していきます。そのことにより、教室の中で閉じる学びではなく、実社会とのつながりを重視した学びを重点に置き、今後学校教育で国が目指す理念として掲げている「社会に開かれた教育課程」の実現を目指します。

こうした学びを実現させていくことができるのも、他には無い府中市のコミュニティ・スクールの最たる特徴であり、府中市教育の強みといえます。今後コミュニティ・スクールの運営に多くの方に関わっていただき、子どもたちの学びを深める教育活動を進めていきたいと思います。